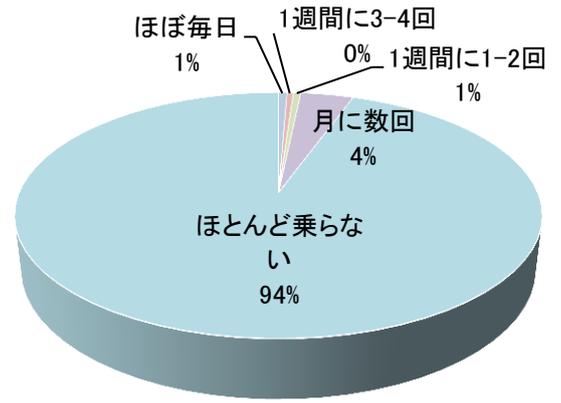


(4) バスの利用状況・意識

1) 問4バスの利用状況

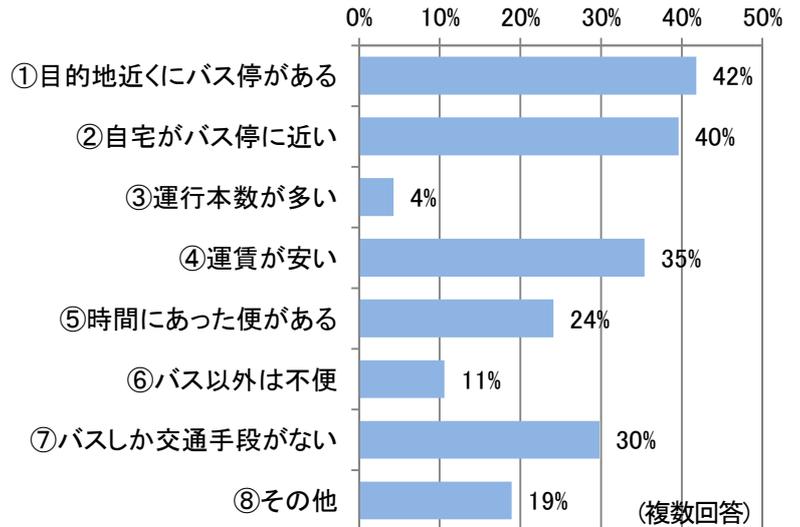
i) バスの利用頻度

・バスを日に数回以上利用する方は6%で、ほとんど乗らない方は94%となっている。



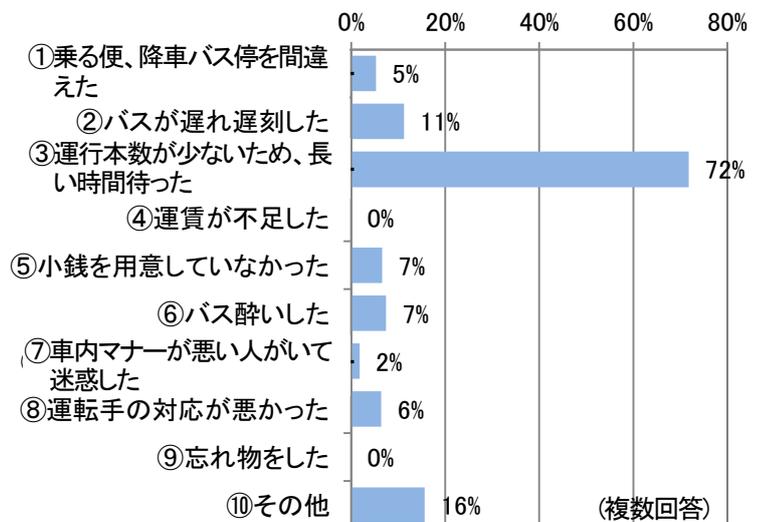
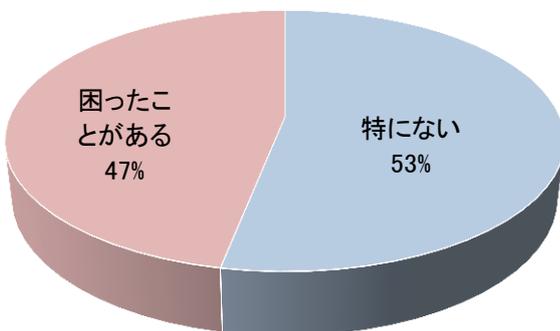
ii) 利用する理由

・①目的地近くにバス停がある又は②自宅がバス停に近いが4割を占める。
 ・次いで④運賃が安い35%、⑦バスしか交通手段がない30%となっている。



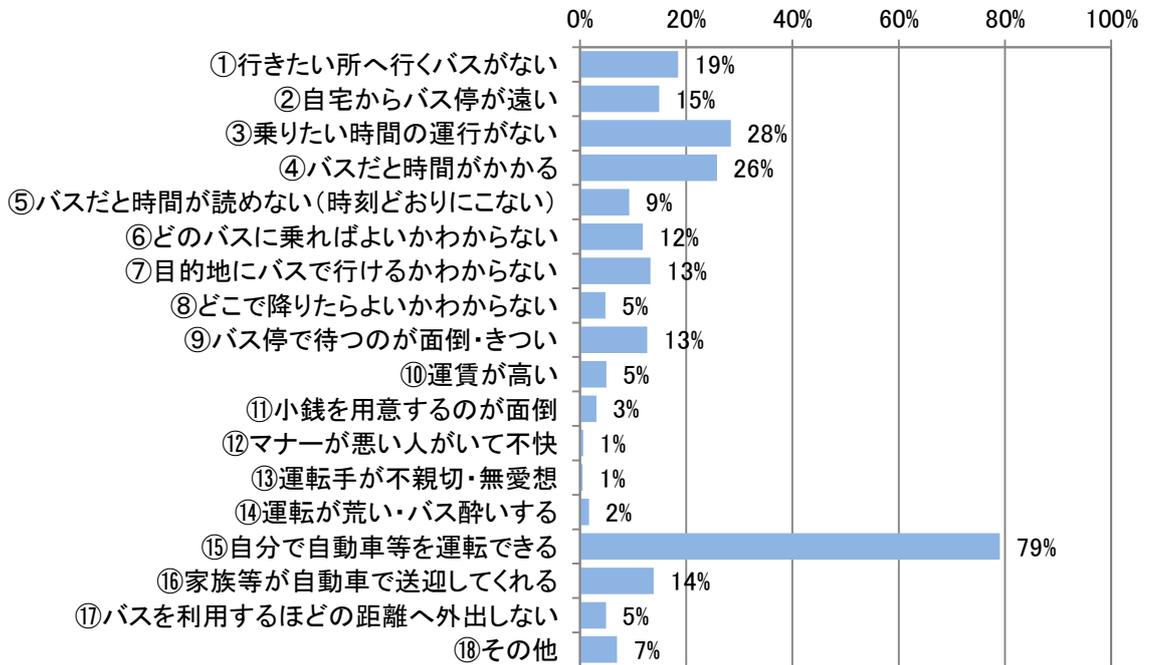
iii) バスで困ったこと

・約半数の方がバスで困ったことがあると回答している。
 ・具体的には、③運行本数が少ないため長い時間待ったが72%と突出している。



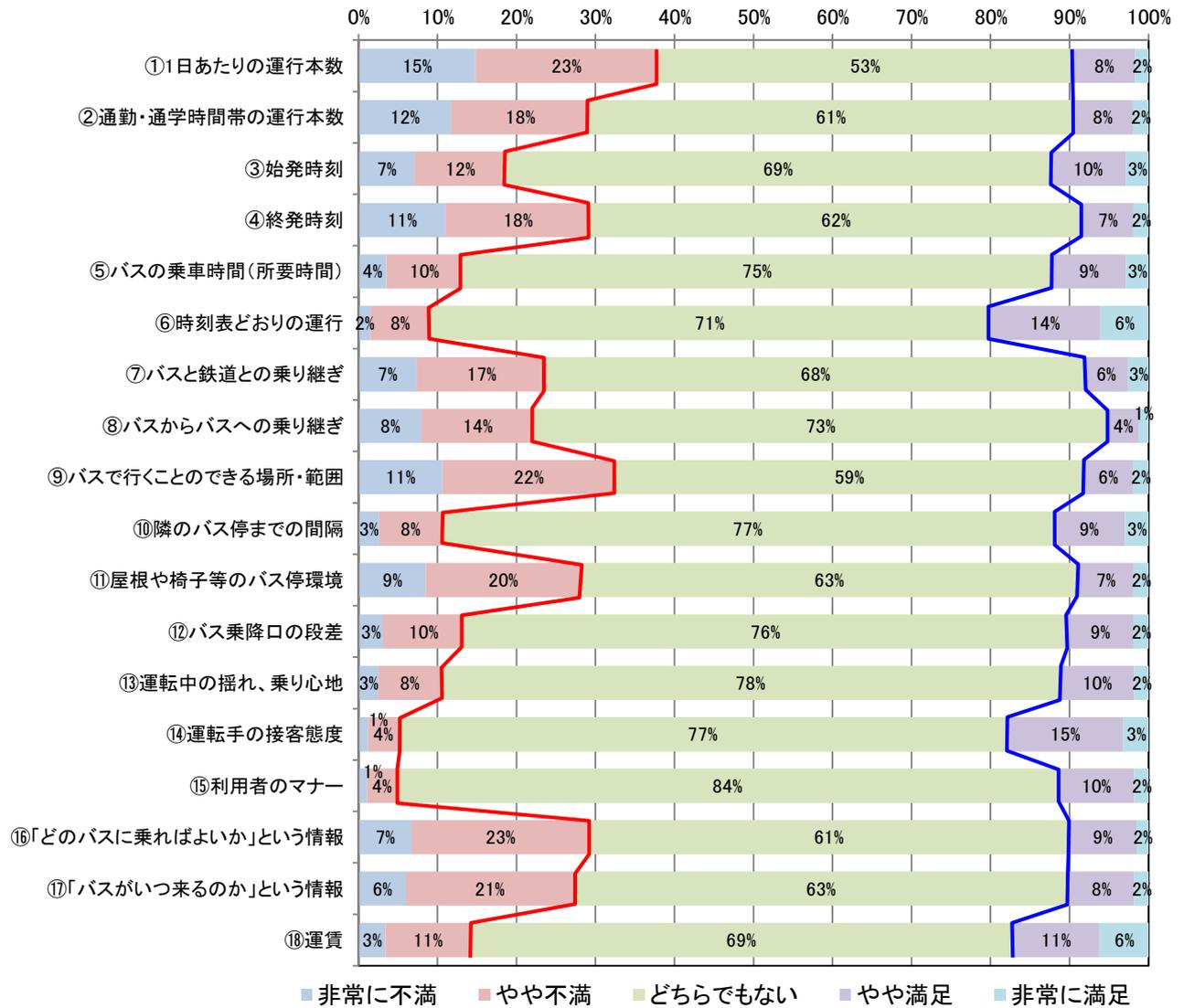
iv) バスを利用しない理由

・⑮自分で自動車等を運転できるからが 79%で突出している。次いで③乗りたい時間の運行がない、④バスだと時間がかかるが 20%を超えている。



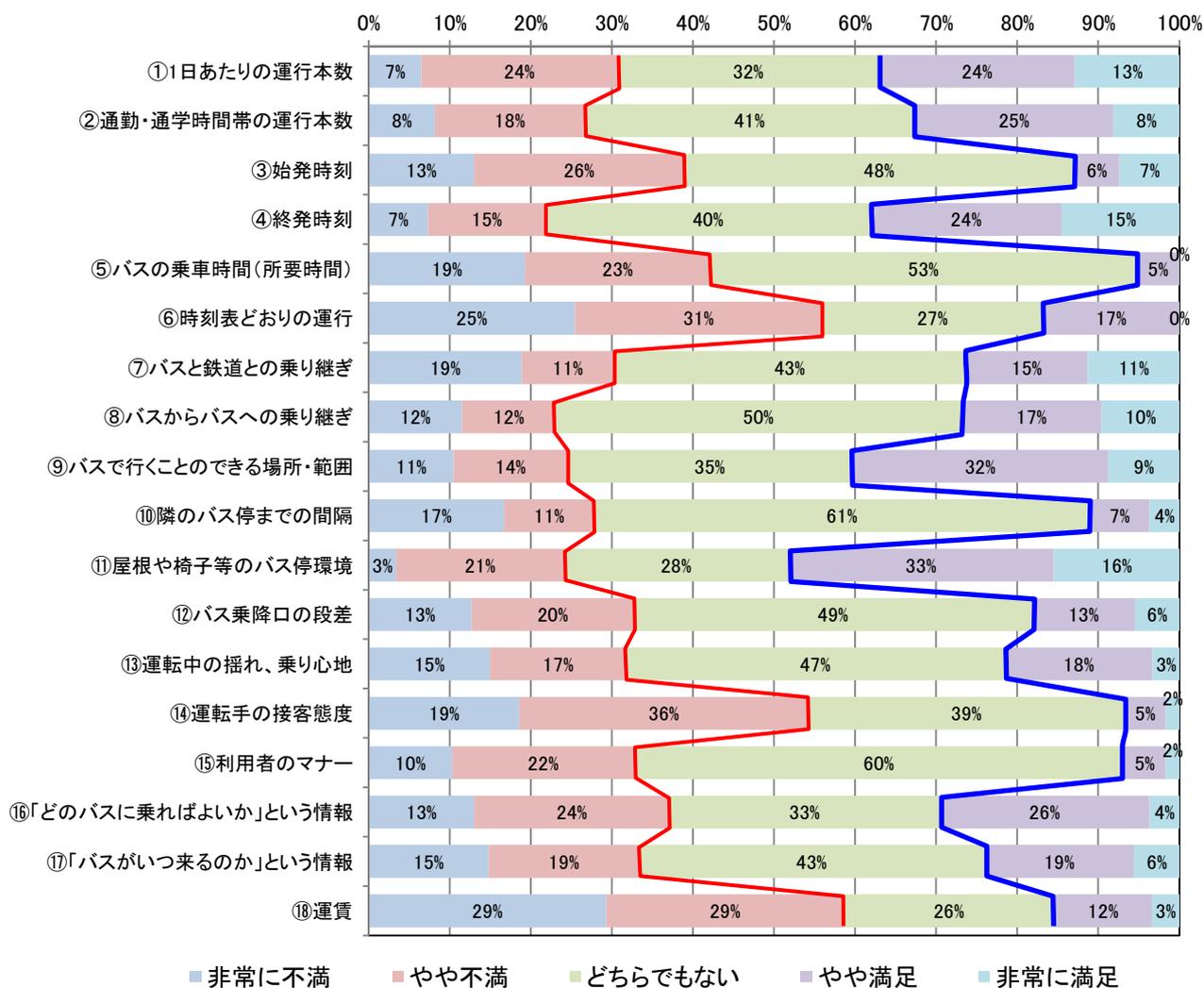
2) バスのサービスレベル

- いずれの設問においても、どちらでもないが最も多くなっている。このうち「①1日あたりの運行本数」では38%、「②通勤・通学時間帯の運行本数」で30%が不満を覚えている。また、「⑨バスで行くことのできる場所・範囲」についても、33%が不満を持っている。
- 一方、「⑥時刻表通りの運行」、「⑭運転手の接客態度」、「⑱運賃」については、やや満足、満足の割合が比較的高くなっている。



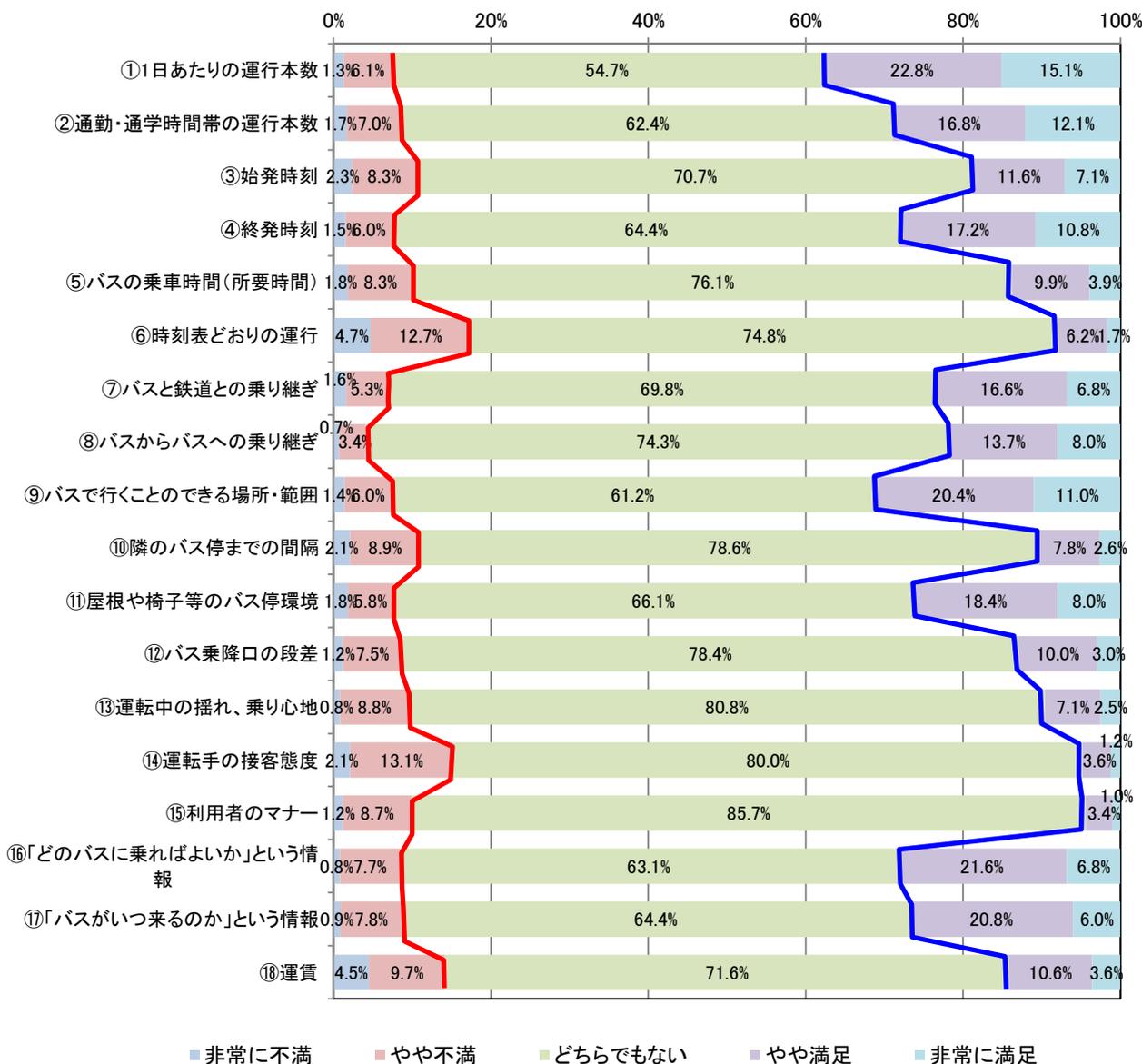
ii) バス利用者（1か月に数回以上）

- ・バスを1か月に数回以上利用する方の満足度をみると、前ページでは、利用していない方も含めた回答であって、実際に利用している方を集計した下図とは異なる結果となっている。
- ・一方、不満が高いのが「⑩運賃」58%、「⑥時刻表通りの運行」56%、「⑭運転手の接客態度」55%、「⑤バスの所要時間」42%、「③始発時刻」39%、「⑩どのバスに乗ればいいのか」37%、「⑰バスがいつ来るのか」34%と続く。



iii) バスを利用しない方（ほとんど利用しない）

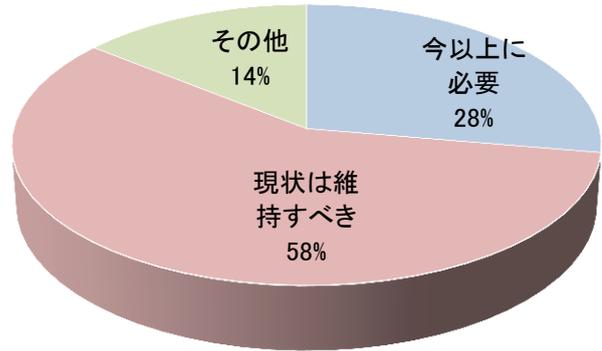
・バスをほとんど利用しない方では、いずれの設問においても、どちらでもないが多い傾向にあり、利用していないため、判断が難しく、そのためにどちらでもないという回答が多かったものと考えられる。



3) バスに対する意識

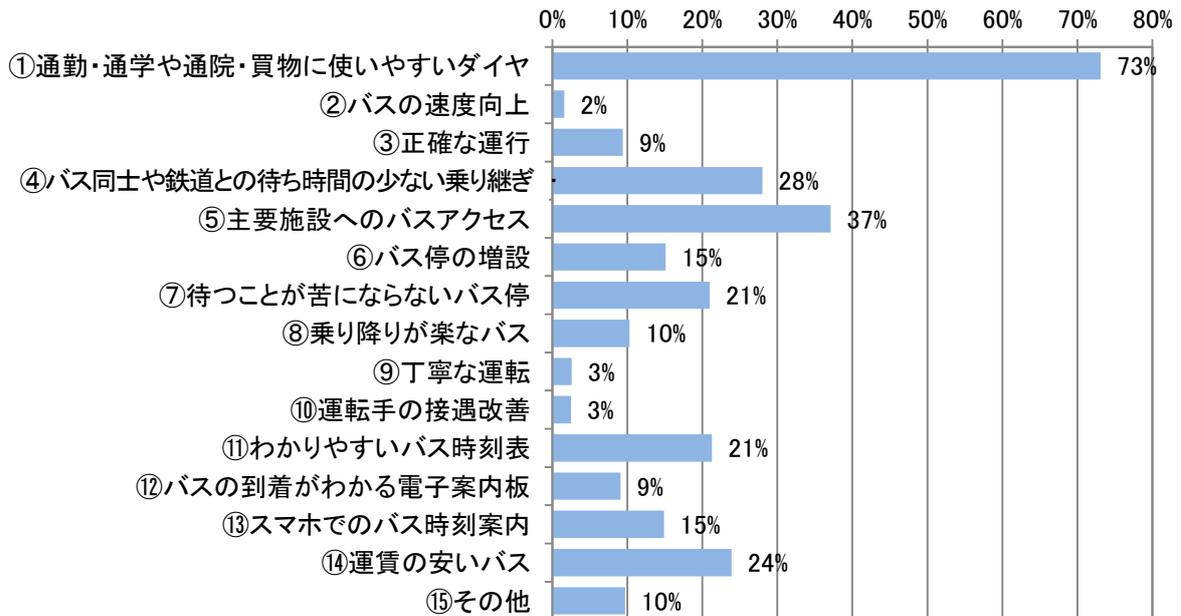
i) 問9バスに対する意識

- ・現状は維持すべきが58%を占める。
- ・JRでは68%が現状は維持すべきとの回答があり(後述)、バスの方が低くなっている。
- ・比較的近距离ではバス以外にもタクシーの利用も想定され、これが一因とも考えられる。



ii) 問10バス利用増加に向けた取り組み

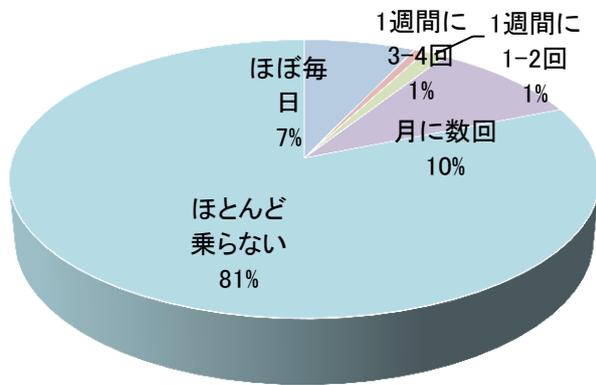
- ・①通勤・通学や通院・買物に使いやすいダイヤを求める意見が73%と突出している。
- ・次いで、⑤主要施設へのバスアクセスが37%、④バス同士や鉄道との待ち時間の少ない乗り継ぎが28%となっている。



(5) JRの利用状況と意識

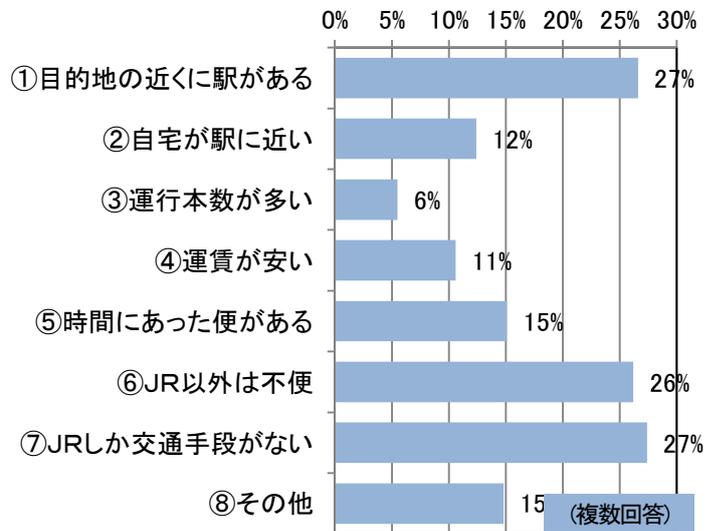
1) 問 11 JRの利用頻度

- ・ほとんど乗らないが 81%と最も高いが、バスの94%に比べると低い。
- ・JRは他市町村への移動に利用されることが一因と考えられる。



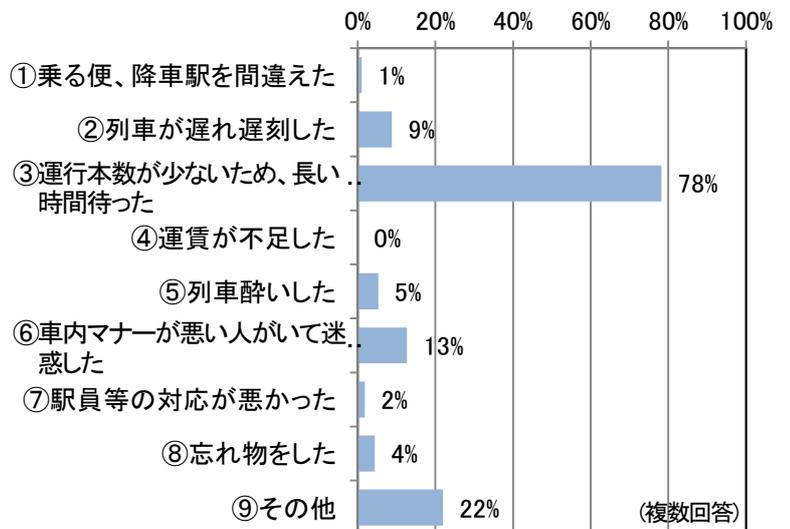
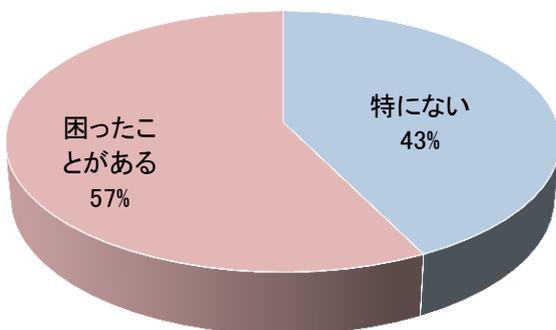
2) 問 12 JRを利用する理由

- ・①目的地の近くに駅がある、⑥JR以外は不便、⑦JRしか交通手段がないが20%以上を占める。



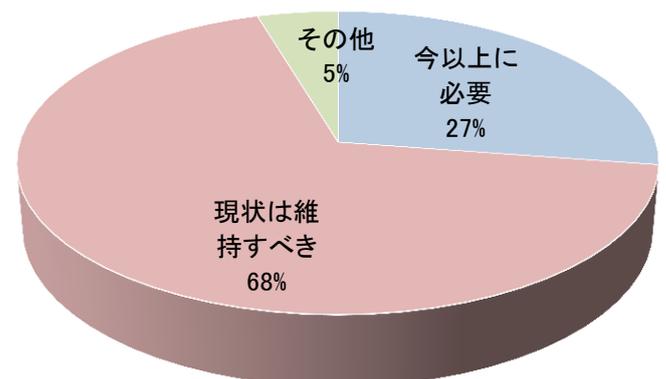
3) JRを利用して困ったこと

- ・困ったことがある方が57%となっている。
- ・このうち③運行本数が少ないため、長い時間待ったが78%と突出している。



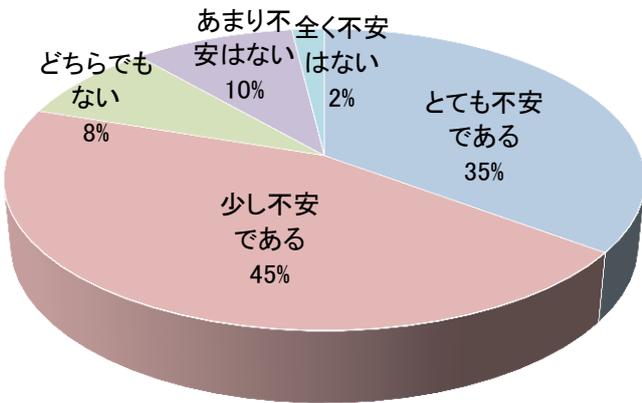
4) 問 14 JRの利用意向

- ・現状は維持すべきが68%となっており、バスの58%を上回っている。

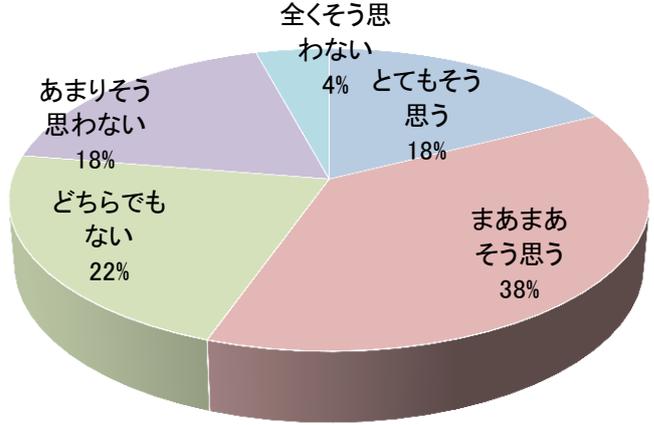


(6) 公共交通への意識

1) 問 15 将来の公共交通への不安
 ・とても不安である、少し不安であるを合わせると80%となり、多くの方が不安を持っている。

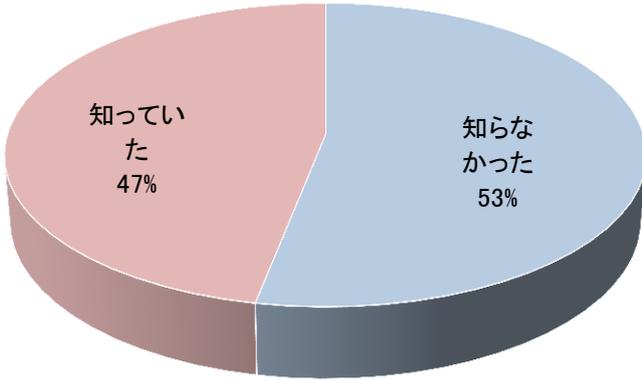


2) 問 16 公共交通の利用意向
 ・とてもそう思う、まあまあそう思うを合わせると46%で利用意向は不安と比べると低い。

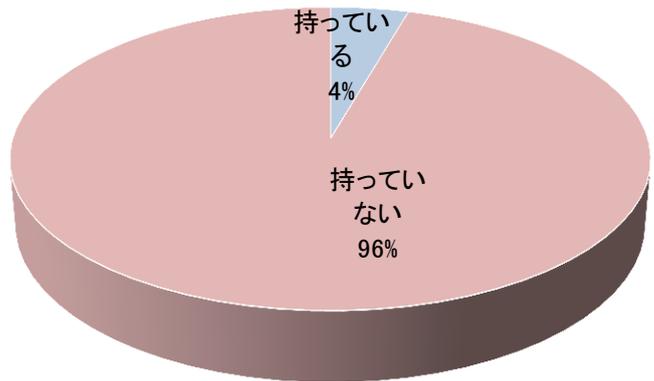


(7) 「おかやま愛カード」の認知度、利用状況

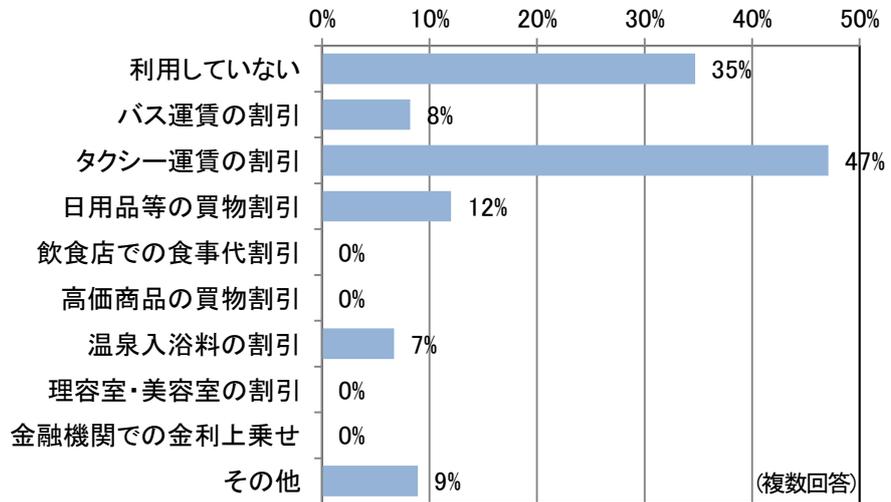
1) 認知度
 ・知らなかったが53%で、知っていたの47%を上回っている。



2) 所有の有無
 ・「おかやま愛カード」を持っているが4%となっている。

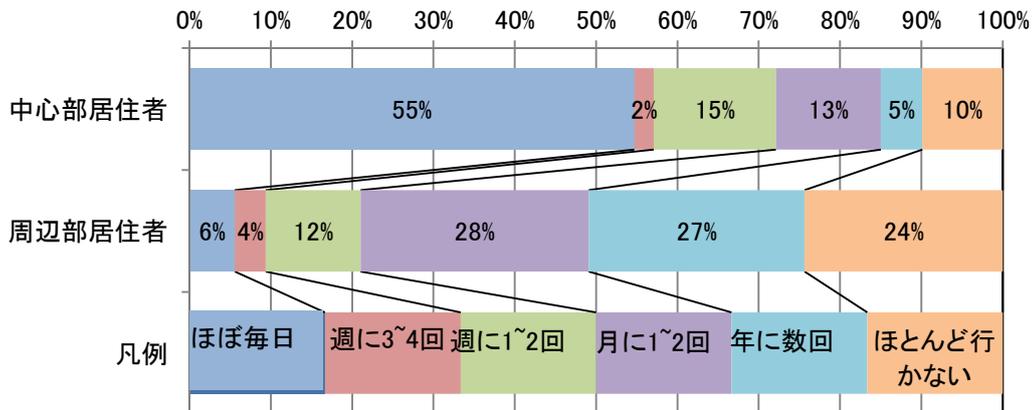


3) 特典の利用
 ・タクシー運賃の割引が47%で最も多い。
 ・バス運賃の割引が8%とタクシーに比べて低いが、これはごんごバスが割引対象外であることも原因の一つと考えられる。

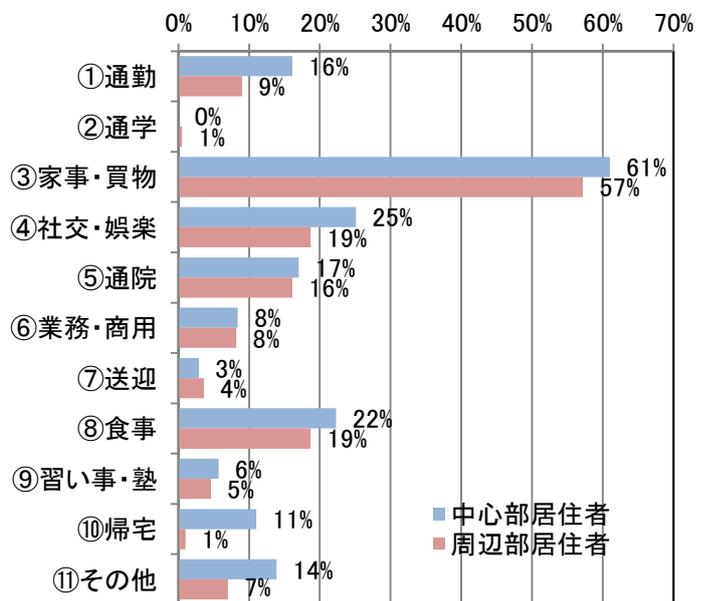


(8) 問18 中心部及び中心部への来街と公共交通

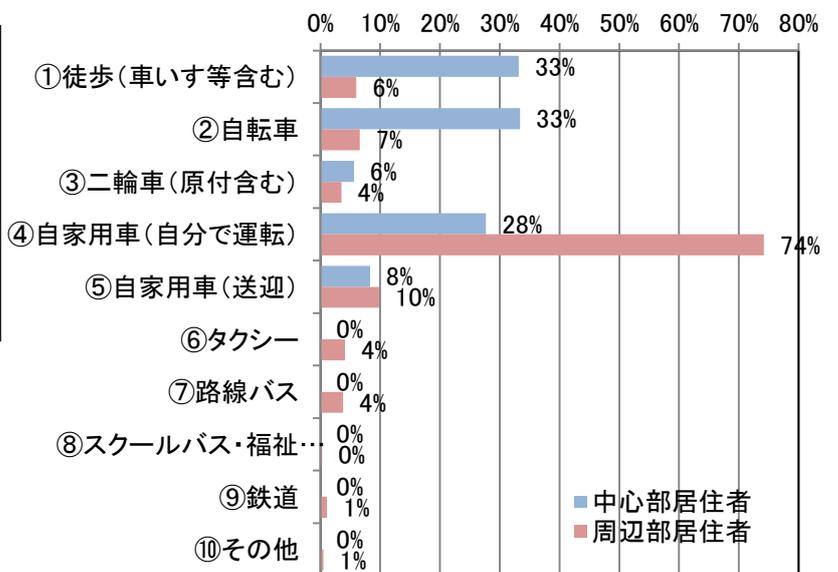
1) 中心部への来街頻度
 ・中心部居住者の10%、周辺部居住者の24%がほとんど行かないとなっている。



2) 来街目的
 ・中心部居住者、周辺部居住者ともに③家事・買物が6割前後で最も多い。
 ・いずれも、次いで④社交・娯楽%、⑧食事となっており、中心部、周辺部の来街目的の割合の差異は少ない。

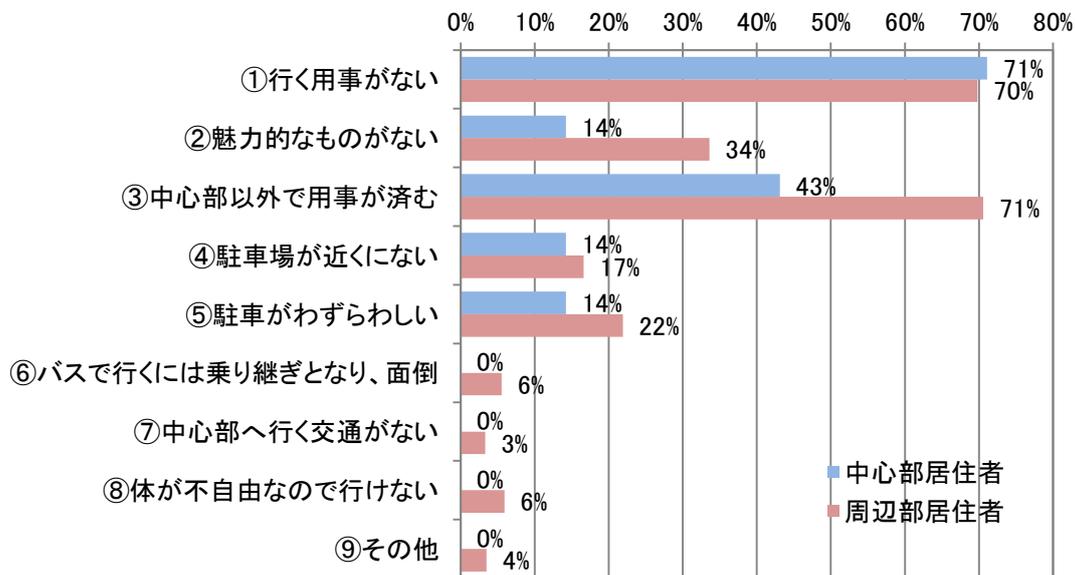


3) 中心部への交通手段
 ・中心部居住者では、①徒歩、②自転車、④自家用車(自分で運転)が3割を超え、次いで④自家用車(自分で運転)の28%となっている。
 ・周辺部居住者では、④自家用車(自分で運転)が65%で圧倒的に多い。
 ・⑥タクシー、⑦路線バスは、周辺部居住者のみの利用でそれぞれ3%となっている。



4) 中心部へ出かけない理由

- ①行く用事がないが中心部居住者、周辺部居住者ともに約70%となっている。③中心部以外で用事が済むが周辺部居住者で71%、中心部居住者でも43%を占める。



5) 交通環境改善取組と利用意向

- いずれの項目においても、どのような取組でも来街しないが最も多い。
- ①バスや鉄道を使って中心部に行き、買物や用事を済ませると運賃を割り引く(又はポイントを付ける)と③中心部を巡回するバスを増便するで、年に数回来街したいまでが71%で意向が高い。
- レンタサイクルに関わる⑦駅や中心部を回遊できるレンタサイクルを導入するや⑧レンタサイクル用駐輪場を小規模でも歩くのが苦にならないよう数多く設置するについてはいずれも来街意欲は低い。

